



2021年3月期 第2四半期決算説明会

2020年11月19日

安藤ハザマ



I . 2021年3月期 第2四半期決算の概況

上半期の事業環境について



市場環境	<ul style="list-style-type: none">・政府建設投資は、堅調に推移。・民間設備投資は、企業収益の減少や景気の不透明感により減少。・海外では、厳しい経済活動の制限が発生。
国内	<ul style="list-style-type: none">・4月に日本国政府による新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令。・4/24から5/6まで全ての事業所(作業所含む)を原則閉所の措置を実施。・宣言解除以降は、各作業所において3密回避などの感染防止対策を徹底し、感染による工事中断は生じず。・一部の資機材で納期の遅延が発生したものの、第1四半期中には解消され、工程上大きな影響を及ぼした工事は無い。・概ね順調に工事進捗。
海外	<ul style="list-style-type: none">・ロックダウンや外出禁止、行動制限等により多くの工事中断が発生。・現時点において、引き続き中断している工事は1件。

決算の概況



連結売上高 **1,810** 億円
(前年同期比 +2.7%)

■ 国内工事が順調に進捗し、完成工事高が増加

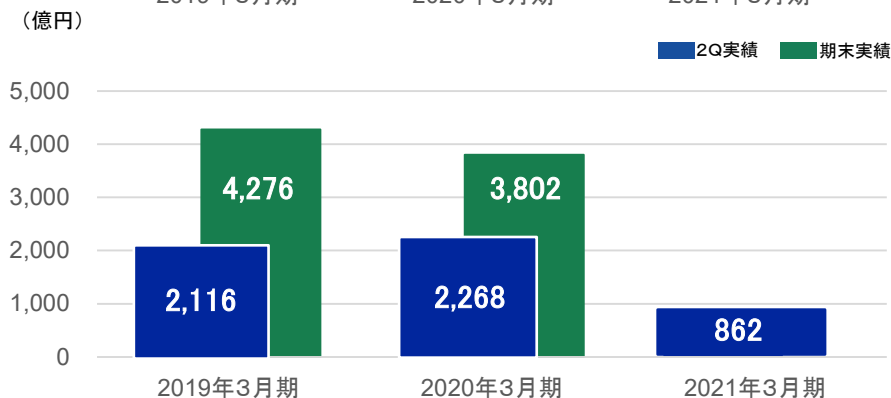
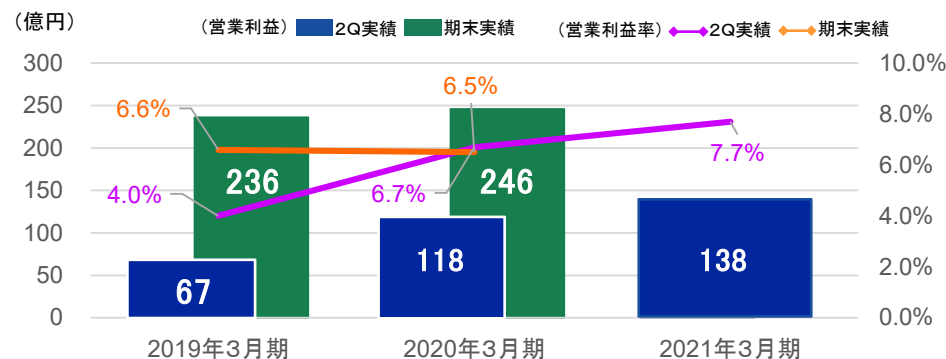
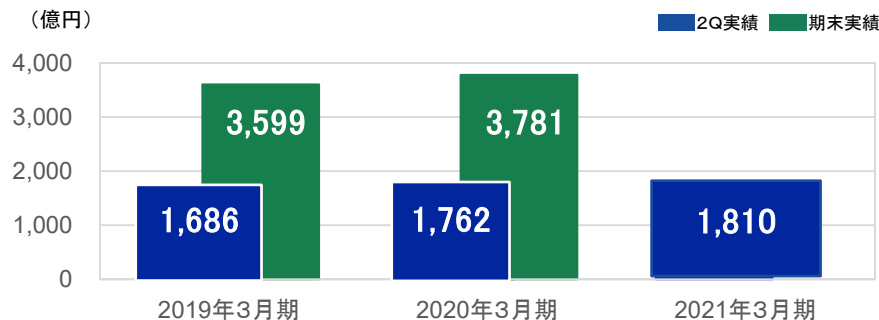
連結営業利益 **138** 億円
連結営業利益率 **7.7** %

(連結営業利益 前年同期比 +17.2%)
(連結営業利益率 前年同期比 +0.9P)

■ 国内工事の採算性向上に伴い完成工事総利益が増加

個別受注高 **862** 億円
(前年同期比 ▲62.0%)
(通期予想に対する進捗率 25.7%)

■ 発注時期の延期等の新型コロナウイルス感染症の影響
■ 前年同期の大型工事受注の反動減



【連結】経営成績



	2020年3月期 第2四半期累計期間		2021年3月期 第2四半期累計期間		
	実績	予想 (8月公表)	実績	前年同期比 差異	予想比 差異
売上高	1,762	1,780	1,810	+2.7%	+1.7%
売上総利益	233	210	241	+3.7%	+15.1%
(売上総利益率)	(13.2%)	(11.8%)	(13.4%)	(+0.1P)	(+1.6P)
販売費及び一般管理費	114	105	103	△10.2%	△1.8%
営業利益	118	105	138	+17.2%	+32.0%
(営業利益率)	(6.7%)	(5.9%)	(7.7%)	(+0.9P)	(+1.8P)
経常利益	114	90	126	+10.3%	+40.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	76	60	85	+11.5%	+42.6%

(単位：億円、単位未満切捨)

【連結】貸借対照表



	前第2四半期末 2019年9月30日	前期末 2020年3月31日 ①	当第2四半期末 2020年9月30日 ②	増減 ②-①
流動資産	2,974	2,775	2,629	△145
固定資産	628	621	643	+21
資産合計	3,602	3,397	3,272	△124
流動負債	1,964	1,793	1,596	△197
固定負債	258	234	247	+12
負債合計	2,222	2,028	1,844	△184
純資産	1,379	1,369	1,428	59
負債・純資産合計	3,602	3,397	3,272	△124
有利子負債(億円)	301	271	279	+8
D/Eレシオ※(倍)	0.22	0.20	0.20	△0.0P
自己資本比率(%)	38.1	40.0	43.4	3.4P

- ・現金預金の増加 (+28)
- ・受取手形・完成工事未収入金等の減少 (△18)
- ・有価証券の減少 (△140)
- ・その他 (+6)

- ・支払手形・工事未払金等の減少 (△158)
- ・未成工事受入金の増加 (+11)
- ・その他流動負債の減少 (△35)
- ・長期借入金の増加 (+15)
- ・その他 (△17)

- ・利益剰余金の増加 (+56)
- ・その他 (+3)

※ D/Eレシオ:有利子負債/自己資本(純資産-新株予約権-非支配株主持分)

(単位:億円、単位未満切捨)



II. 2021年3月期 第2四半期個別決算の詳細

【個別】完成工事高・完成工事総利益



2020年3月期 第2四半期累計期間		2021年3月期 第2四半期累計期間			
実績	予想 (8月公表)	実績	前年同期比	予想比	
			差異	差異	
完成工事高	161,663	163,500	168,832	+4.4%	+3.3%
土木工事	55,943	63,500	66,583	+19.0%	+4.9%
建築工事	105,719	100,000	102,249	△3.3%	+2.2%
完成工事総利益	21,309	19,400	22,647	+6.3%	+16.7%
(完成工事総利益率)	(13.2%)	(11.9%)	(13.4%)	(+0.2P)	(+1.5P)
土木工事	11,586	10,300	12,014	+3.7%	+16.6%
	(20.7%)	(16.2%)	(18.0%)	(△2.7P)	(+1.8P)
建築工事	9,723	9,100	10,633	+9.4%	+16.9%
	(9.2%)	(9.1%)	(10.4%)	(+1.2P)	(+1.3P)

(単位：百万円、単位未満切捨)

【個別】受注高



	2020年3月期 第2四半期累計期間	2021年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	予想 (8月公表)	実績	前年同期比 差異	予想比 差異
受注高	226,866	120,000	86,200	△62.0%	△28.2%
土木工事	115,661	40,000	30,111	△74.0%	△24.7%
国内	99,386	38,000	29,677	△70.1%	△21.9%
海外	16,274	2,000	434	△97.3%	△78.3%
建築工事	111,205	80,000	56,089	△49.6%	△29.9%
国内	102,454	76,000	55,333	△46.0%	△27.2%
海外	8,751	4,000	756	△91.4%	△81.1%

(単位：百万円、単位未満切捨)

【個別】繰越高



	前第2四半期末 2019年9月30日	当第2四半期末 2020年9月30日	増減	前期末 2020年3月31日
繰越高	583,088	463,868	△20.4%	546,698
土木工事	354,466	327,594	△7.6%	364,119
国内	326,453	306,153	△6.2%	339,512
海外	28,012	21,440	△23.5%	24,607
建築工事	228,621	136,273	△40.4%	182,578
国内	215,369	130,659	△39.3%	171,489
海外	13,252	5,613	△57.6%	11,089

(単位：百万円、単位未満切捨)



III. 2021年3月期通期の業績見通し



完工・利益	<p>手持工事を安全かつ着実に施工していくことで、完工高と利益を確保。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 各作業所での3密回避など感染防止対策を徹底することで、国内工事は上半期同様に進捗するものと予測。・ 海外工事は、ロックダウンや移動制限等により、再中断・遅延が発生する可能性が残る。・ 手持工事は受注時での採算を確保しており、労務費や資機材価格も安定。
受注環境	<p>官庁工事は堅調な推移が見込めるが、民間工事は、景気後退による民間建築需要の縮小により、受注競争の厳しさが増す。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 土木は、施工体制を勘案しつつ、総合評価や大型インフラ案件での受注を見込む。・ 建築は、下半期の予定案件が多く、上半期に計画延期となった案件も期末までに出件が見込まれる。Eコマース拡大に伴う物流施設への取り組み強化。・ 海外工事は、今後の出件動向が見通せない。

ただし、新型コロナウイルス感染者はいまだに世界中で増加し、収束の目途はたっており、国内でも再拡大が懸念され、先行き不透明感は依然変わらない。

【連結】通期業績予想



	2020年3月期	2021年3月期		
	実績	通期予想 (8月公表)	上半期 進捗率	対前期比
売上高	378,135	365,000	49.6%	△3.5%
売上総利益	47,216	44,100	54.8%	△6.6%
(売上総利益率)	(12.5%)	(12.1%)	(-)	(△0.4P)
販売費及び一般管理費	22,517	20,500	50.3%	△9.0%
営業利益	24,699	23,600	58.7%	△4.5%
(営業利益率)	(6.5%)	(6.5%)	(-)	(△0.1P)
経常利益	23,983	21,900	57.8%	△8.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,803	14,800	57.8%	△11.9%

(単位：百万円、単位未満切捨)

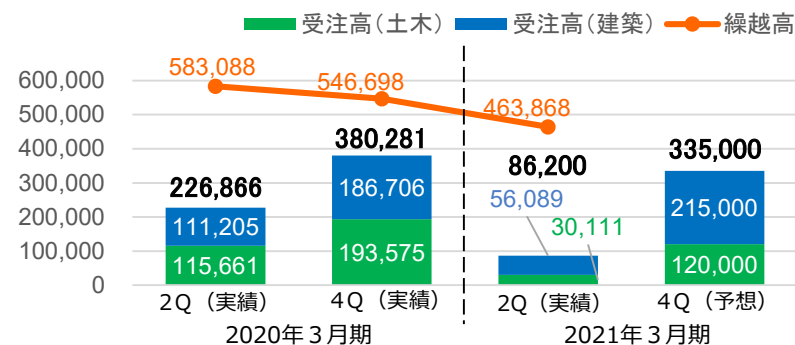
【個別】受注高予想(通期)



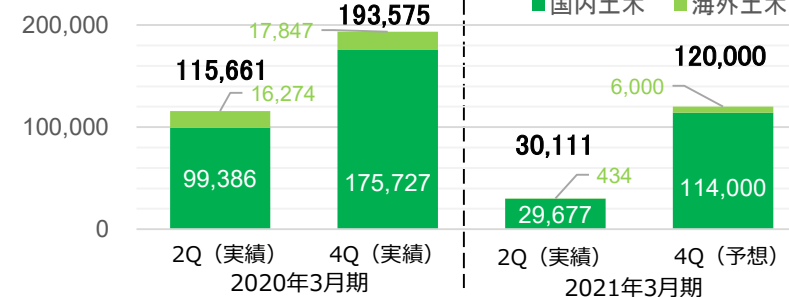
	2020年 3月期	2021年3月期		
	実績	通期予想 (8月公表)	上半期 進捗率	対前期比
受注高	380,281	335,000	25.7%	△11.9%
土木工事	193,575	120,000	25.1%	△38.0%
国内	175,727	114,000	26.0%	△35.1%
海外	17,847	6,000	7.2%	△66.4%
建築工事	186,706	215,000	26.1%	+15.2%
国内	172,293	210,000	26.3%	+21.9%
海外	14,412	5,000	15.1%	△65.3%

(単位：百万円、単位未満切捨)

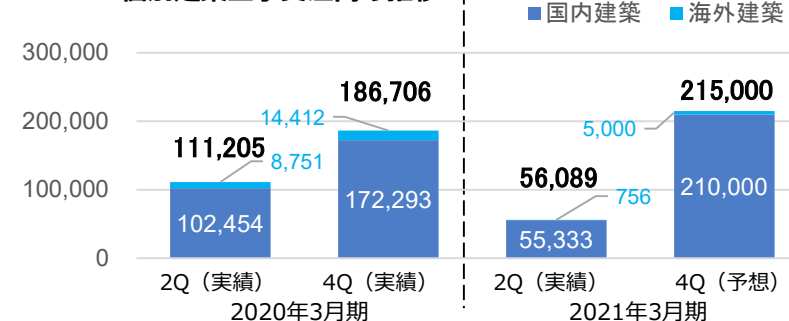
(百万円) 個別受注高・繰越高の推移



(百万円) 個別土木工事受注高の推移



(百万円) 個別建築工事受注高の推移



【個別】完成工事高・完成工事総利益予想(通期)



	2020年3月期	2021年3月期		
	実績	通期予想 (8月公表)	上半期 進捗率	対前期比
完成工事高	351,527	335,000	50.4%	△4.7%
土木工事	124,314	135,000	49.3%	+8.6%
建築工事	227,213	200,000	51.1%	△12.0%
完成工事総利益	43,174	40,300	56.2%	△6.7%
(完成工事総利益率)	(12.3%)	(12.0%)	(—)	(△0.3P)
土木工事	21,960	21,900	54.9%	△0.3%
	(17.7%)	(16.2%)	(—)	(△1.4P)
建築工事	21,214	18,400	57.8%	△13.3%
	(9.3%)	(9.2%)	(—)	(△0.1P)

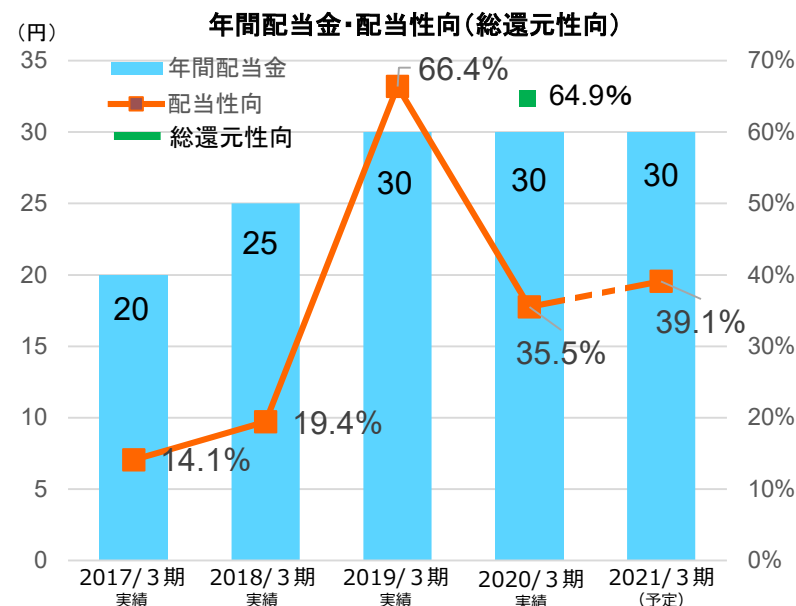
(単位：百万円、単位未満切捨)

配当および自己株式取得の状況



1. 年間配当金

	中間配当	期末配当	合計
2020年3月期 (実績)	15 円	15 円	30 円
2021年3月期 (予定)	15 円 (実績)	15 円	30 円



2. 自己株式取得 (2020年11月10日取締役会決議)

- ・取得期間 2020年11月16日～2021年11月15日
- ・取得し得る株数 (上限) 1,800万株
- ・取得価額の総額 (上限) 100億円

2023年3月期
中期経営計画最終期
総還元性向 目標数値 50%以上



IV.中期経営計画(2021.3期～2023.3期)進捗状況

中期経営計画の進捗状況



Chapter I 《Branding》 2021.3期 - 2023.3期

お客様
価値の創造

▶技術開発/イノベーション/提案力強化で安全・高品質・高生産性・低コストの実現
▶LCサポート事業の強化でお客様に長く寄り添い、多様なニーズに即応



進捗状況

- 生産性向上、低コスト/短工期等の実現に向けた各種技術開発を推進中
(山岳トンネル統合型掘削管理システム開発、自律走行式ひび割れ検査ロボット開発 等)
- コスト競争力向上を目的とした新PC工場の取得と増強
- LGS事業本部を設立(維持管理、リニューアル等のサポート体制確立)

株主
価値の創造

▶安定した収益の確保(年度の受注増減に影響を受けにくい事業構造への変革)
▶創出利益の株主還元(配当他)と成長投資による企業価値向上



進捗状況

- 第2四半期は計画を上回る売上・利益を達成
- 中間配当15円、期末配当15円、計年間配当 30円
- 自己株取得を計画(今後1年間で100億円)
- 現時点で見込む3年間の成長投資額 200~300億円

環境
価値の創造

▶再生可能エネルギー事業への参画 ▶事業活動の脱炭素化(SBT/RE100の推進)
▶ZEB・次世代エネルギーマネジメントシステム等の技術開発・実証と展開



進捗状況

- 国内外の再エネ事業参画を計画中
- SBT/RE100の推進中
- 技術研究所にて →次世代エネルギープロジェクトの実証開始
→ZEB実証スペースを整備・運用開始

従業員
価値の創造

▶幸福感の実現(働き方や成果に応じた処遇、健康経営推進、ダイバーシティ)
▶働き方改革、多様な働き方の実現 ▶人財育成・確保(人財育成制度の拡充)



進捗状況

- 社員の幸福感実現に向けた各種施策を推進中
- 健康経営への取組を推進
- 週休二日の2021年度末までの定着に向けて施策継続中
- テレワークの推進やWEB会議のフル活用などの浸透

Chapter II
《Spread》
2024.3期
-
2027.3期

Chapter III
《Establish》
2028.3期
-
2031.3期

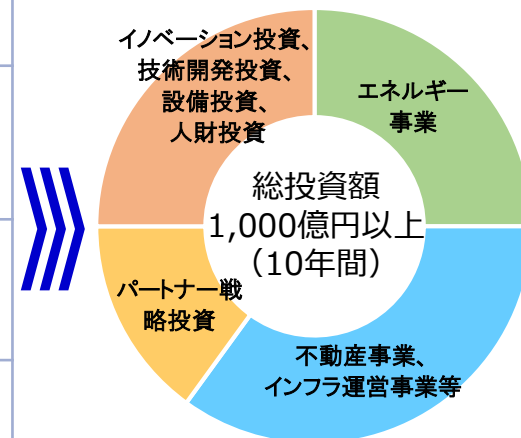
中期経営計画の進捗状況(投資計画)



【中期経営計画期間(2021.3期～2023.3期)の投資計画】

分野	金額	対象
エネルギー事業	50 億円 程度	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー事業(国内&海外) ・エネルギーサービスプロバイダ事業(ESP事業)
不動産事業、 インフラ運営事業等	50 億円 程度	<ul style="list-style-type: none"> ・保有資産(支店ビル)の ファシリティーマネジメント 事業 ・収益物件の取得
パートナー戦略投資	50 億円 程度	<ul style="list-style-type: none"> ・海外事業パートナーとのアライアンス ・スタートアップ企業との協業
イノベーション投資、 技術開発投資等	100 億円 程度	<ul style="list-style-type: none"> ・技術開発投資(生産性向上、低コスト、短工期等) ・技術研究所の設備投資 ・PC工場の増設(3棟目) ・ベンチャーキャピタル投資(VC投資)

「VISION2030」成長投資



3年間の投資総額(200～300億円)

【2020年上半期の投資案件】

技術研究開発、新PC工場(静岡)、収益物件(都内ビジネスホテル)



土木

美浦トレーニング・センター坂路馬場改造及び南Eコース新設工事

発注者：日本中央競馬会

工事場所：茨城県

建築

早稲田中学校・高等学校 3号館・興風館建替工事

発注者：学校法人早稲田高等学校

工事場所：東京都



土木

熊本57号災害復旧 二重峠トンネル(阿蘇工区)工事

発注者：国土交通省 九州地方整備局

工事場所：熊本県

建築

DPL新富士Ⅱ新築工事

発注者：新富士開発特定目的会社

工事場所：静岡県



本資料はIRのためのスライド集であり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は株式会社 安藤・間の事業および業界動向についての株式会社 安藤・間による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性を含んでおります。



安藤ハザマ
HAZAMA ANDO CORPORATION